

文書分類番号	00	09	03	002	永 年	起案	令和6年11月21日	決裁	令和	年	月	日
議 長	副議長	局 長	副主幹	係 長	担 当	担 当	文書取扱主任					

第 13 回 厚 生 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日	令和6年8月22日（木曜日）	開会9時53分	閉会10時36分
開催場所	第二・第三委員会室		
出席委員	木下、好川、寄谷、高橋、福井、藤田、堀、田村、 荒木、関藤	事務局	深村事務局長
欠席委員	なし		壽崎副主幹
説明員	別紙のとおり		小島主事
議 件	別紙のとおり		
議 事 の 概 要	1 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、報告済みとした。		
	(1) 公の施設の指定管理者の公募について		
	(2) 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について		
	(3) 令和6年度一般会計補正予算について（被保険者証廃止に伴う重度心身障害者医療費助成システム改修）		
	(4) 北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について		
	(5) 令和6年度一般会計補正予算について（生活保護システム改修費及び過年度過誤納還付金）		
	(6) 令和6年度一般会計補正予算について（保育所等の運営管理に要する経費、過年度過誤納還付金及び還付加算金）		
	(7) 令和6年度介護保険特別会計補正予算（第1号）について		
	(8) 令和6年度一般会計補正予算について（過年度過誤納還付金）		
	(9) 経営状況について		
	2 第3回定例会以降の調査事項について		
	別紙調査項目のとおり決定した。		
	3 その他について		
	なし		
	4 次回委員会の日程について		
	正副委員長に一任することに決定した。		
	上 記 記 載 の と お り 相 違 い な い。 厚生常任委員長 木 下 八重子 ㊦		

第13回 厚生常任委員会

R6.8.22 (木)10:00～

第二・第三委員会室

開 会 9:53

委員長 おはようございます。少し早いようですけれども、皆さんおそろいなので、第13回厚生常任委員会を開会いたします。

委員動静報告

委員長 ただいまの出席委員数は10名であります。議長及び副議長の出席をいただいております。安樂議員、山口議員に傍聴の許可をしております。株式会社北海道新聞社に取材の許可をしております。

1 所管からの報告事項について

委員長 所管からの報告事項について、◎印につきましては議案関係でありますので、ご留意願います。

それでは、市民生活部、(1)、公の施設の指定管理者の公募についての説明を求めます。

(1) 公の施設の指定管理者の公募について

西島主任主事 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

(なしの声あり)

委員長 質疑はないようですので、(1)につきましては報告済みとさせていただきます。それでは、(2)、令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)についての説明を求めます。

(2) 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

栗木係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

(なしの声あり)

委員長 ないようですので、(2)につきましては報告済みとさせていただきます。それでは、(3)、令和6年度一般会計補正予算について(被保険者証廃止に伴う重度心身障害者医療費助成システム改修)についての説明を求めます。

(3) 令和6年度一般会計補正予算について(被保険者証廃止に伴う重度心身障害者医療費助成システム改修)

大橋課長補佐 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

(なしの声あり)

委員長 ないようですので、(3)については報告済みとさせていただきます。それでは、次、(4)、北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更についての説明を求めます。

(4) 北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について

大橋課長補佐 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

(なしの声あり)

委員長 ないようですので、(4)につきましては報告済みとさせていただきます。
ここで所管を入れ替えたいと思いますので、暫時休憩いたします。

休 憩 10:01

再 開 10:03

委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を再開いたします。
保健福祉部、(5)、令和6年度一般会計補正予算について(生活保護システム改修費及び過年度過誤納還付金)についての説明を求めます。

(5) 令和6年度一般会計補正予算について(生活保護システム改修費及び過年度過誤納還付金)

平沼係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

(なしの声あり)

委員長 なしと認めますので、(5)につきましては報告済みとさせていただきます。
それでは、(6)、令和6年度一般会計補正予算について(保育所等の運営管理に要する経費、過年度過誤納還付金及び還付加算金)についての説明を求めます。

(6) 令和6年度一般会計補正予算について(保育所等の運営管理に要する経費、過年度過誤納還付金及び還付加算金)

川端係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

(なしの声あり)

委員長 ないようですので、(6)については報告済みとさせていただきます。
それでは、(7)、令和6年度介護保険特別会計補正予算(第1号)についての説明を求めます。

(7) 令和6年度介護保険特別会計補正予算(第1号)について

大川係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますでしょうか。

(なしの声あり)

委員長 ないようですので、(7)につきましては報告済みとさせていただきます。
それでは、(8)、令和6年度一般会計補正予算について(過年度過誤納還付金)について説明を求めます。

(8) 令和6年度一般会計補正予算について(過年度過誤納還付金)

景由次長 説明の前に、すみません、提出資料について謝罪をさせていただきたいと思
います。今回一般会計補正予算ということで同一科目、過誤納還付金の補正予算
の項目でございましたが、提出資料を複数枚にわたるような形で提出させてい
ただきまして、通常のルールとは異なる形だったことについて謝罪をさせてい
ただきます。大変申し訳ございません。以降については、資料を整理した上で
提出をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
説明につきましては今回和泉課長補佐のほうで一括してさせていただきたいと
思いますので、よろしくお願いいたします。

和泉課長補佐
委 員 長

(別紙資料に基づき説明する。)
説明が終わりました。
質疑ございますでしょうか。

(なしの声あり)

委 員 長

ないようですので、(8)については報告済みとさせていただきます。
それでは、所管の入替えて暫時休憩いたします。

休 憩 10:16

再 開 10:18

委 員 長

休憩前に引き続き会議を再開いたします。
市立病院、(9)の経営状況について説明を求めます。

(9) 経営状況について

金子課長
委 員 長

(別紙資料に基づき説明する。)
説明が終わりました。
質疑ございますでしょうか。

藤 田

1つ確認だったのですが、2の診療収益ですけれども、令和4年と令和5年の11月から2月まで数字が同じになっていますが、これは何か理由があったのでしょうか。

金子課長

今の段階で何がどう誤っていたか不明ですが、明らかにこれは数字上誤りなので、申し訳ございません。こちらについては、訂正して提出させていただきたいと思います。数字のトータル等は、影響はない部分だと思いますし、右側の表につきましては大丈夫だと思うのですけれども、おっしゃるとおり全く同じ数字が令和4年と5年にかけて11月から2月まで記載をされているということで、後ほど修正をさせていただきたいと思います。申し訳ございませんでした。ほかに質疑ございますか。

委 員 長
福 井

4点質疑させてください。前回ご報告とご答弁いただいた見込みどおり大変厳しい状況が継続している中、様々な方策に努めてくださっていると思いますが、年度中または新年度から医師の招致、確保のめどなどの交渉事で、もちろん公表をなかなかしにくい部分もあるかとは思っているのですけれども、できる範囲で結構ですので、教えてください。

2点目が、外来患者減少は前回にもご説明いただきましたが、現在1日の来院数に対しても医師に対する負担は増大したままという認識で問題はありませんでしょうか。また、市立病院独自に医師の負担軽減のような目的をした取組などがあれば教えてください。

3点目なのですが、同じく、これは業務独占の資格とか縛りで様々なハードルがあると思うのですけれども、市立病院が以前から取り組んでいる看護業務のタスクシフトに準ずるような医師の負担を軽減させる医師版のタスクシフトのようなものが必要だと感じているのですけれども、こういった取組の検討とかはしていただけるのかなということ。

最後なのですが、これは私が直接聞いた話ですけれども、全体ではないと思うのですけれども、恐らく一部であり、全体かどうかは確認はできませんでしたが、平成29年度に比べて減少傾向にあった時間外勤務が最近残業で帰りが遅くて疲れが取れにくいというような声を聞き及びましたので、今年度分かる範囲で結構ですので、時間外勤務、超過勤務の現状を教えてください。また、前回ご説明で医師は過度な負担はかかっているが、そのほかの医療従事者の負

金子課長

担はむしろ軽減の傾向であると教えていただきましたけれども、4月からの医師以外の医療従事者の時間外勤務が増加傾向であった場合、患者数、医師の減少との因果関係に対してどのような評価をなさっているのか、お考えをお聞かせください。以上4点です。

それでは、順次ご答弁を申し上げますけれども、まず医師の招聘についてでございます。非常に医師不足が喫緊の課題であり、極めて厳しい状況であるということは申し上げてきております。毎年秋を中心に院長等が医局を訪問して、医局員の派遣についてそれぞれの医育大学にお願いに行っているということもでございます。近年でいえば、やはり動き出しの段階でもう少し早めに動いて少しでも医師の確保につなげるように、そのように院内でも考えているところでございます。また、いろんな働き方に応じて、これまで例えば正規職員がぜひ欲しいですとか、少し会計年度任用医師の募集で多様な働き方に応えていければいいのではないかとというようなこともありまして、6月から募集を開始しているところでございます。こちらについては、残念ながら今のところはアクションはありません。また、医師の紹介会社による紹介をいただくものに対しては、かなり積極的に受ける構えで面接にこぎ着けるようにしておりますけれども、残念ながらこちらでも面接にこぎ着けた事例は今のところ年度に入ってから是一件もございません。そういう極めて厳しい状況ですけれども、あとはこの場で申し上げることが適切ではないというような、福井委員もおっしゃっていましたが、そういったこともございますけれども、いろんな調整の中で医師の確保については全力でやっていきたいと考えております。

次に、医師不足による負担の増大についてでございます。医師不足で負担増大という形については、大きくは変わっていません。やはりそれぐらい大きく医師の数というのが減少してしまって診療に対する非常に大きな影響があるわけですが、その中でも負担軽減に資する取組といたしまして医師事務の補助の職員を採用することによって、これは令和6年の4月段階で10名おりますけれども、事務作業の負担を軽減をしているですとか、あと内科の出張医につきましては年度前に医師が大きく減ることが予想されていたので、何とか確保に動いて年度初めからの動きとして年度末の状況から比較いたしますと9こまを確保して、これは5こまを増強したという形にはなります。大体午前診療、午後診療というのを1つのこまと考えれば、5こま分が埋まったという形にはなります。そして、当直の出張医師につきましては、従前も1名派遣をいただいて確保していたというところですが、これは1枠増強して新年度から運用をしております。あと、循環器の出張医につきましても毎週金曜日に来ていただいているほか、本年度からまた専門のドクターをお呼びをして外来に来ていただいているところです。あと、内視鏡の出張医、こちらは従前どおり継続をしているというところです。

あと、看護業務に準じるような医師もタスクシフトがあってもいいのではないかとという独自の取組についてお伺いをされたと思いますけれども、こちらについても法律の許す限り当院でも実施をしております。例えば患者さんに対する説明と同意、インフォームドコンセント、そういった取組ですとか、各種書類の下書きや作成ですとか、そういうことも医師に代わって担っております。あと、診察前の予診であるとか、患者さんの誘導でありますとか、そういったいろいろな取組をできる限り他の職種でタスクシフトは実施しているところで

ございます。また、看護師、そして臨床工学技士、それと診療放射線技師、医師事務補助、こういった職種の皆さんや、あと薬剤師がそれぞれの職域の中で取組をできることはタスクシフトとして取り組んでいるところでございます。最後に、超過勤務の状況と、4月からの状況を申し上げますと、前回の厚生常任委員会の中でも申し上げたとおり患者数が減っていますから超過勤務も減っているのです。全体的な状況で申し上げますと、令和5年度の4月から7月という抜粋した形でのトータルの時間、1か月平均12.6時間であったのが今年度に入ってから8.2時間ということで約35パーセント程度減っております。そのことを申し上げておきたいと思います。

委員長
荒 木

ほかに質疑ございますでしょうか。

金子課長

1点だけ、起債の償還月が9月と3月に毎年なっているのですが、金額がよく分からない。我々も知らないのですが、今年度の2回分の償還金額って幾らですか。予算上の予定額で申し上げますと、企業債の償還金としましてはトータルで4億7,940万3,000円ということで予定をさせていただきます。

委員長

ほかにございますでしょうか。

(なしの声あり)

委員長

ないようですので、(9)につきましては報告済みといたします。
それでは、所管と報道機関は退室願います。

2 第3回定例会以降の調査事項について

委員長

定例会以降の調査事項について、別紙のとおりでよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委員長

そのようにさせていただきます。

3 その他について

委員長

その他についてですが、委員の皆さんから何かありませんでしょうか。

(なしの声あり)

委員長

事務局のほうからありませんか。

(なしの声あり)

4 次回委員会の日程について

委員長

次回委員会の日程につきましては、委員長、副委員長にご一任いただけますでしょうか。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委員長

それでは、そのように確認いたします。

以上で第13回厚生常任委員会を閉会いたします。

閉 会 10:36

令和6年8月19日

滝川市議会議員 山 本 正 信 様

滝川市長 前 田 康 吉

厚生常任委員会への説明員の出席について

令和6年7月26日付け滝議第41号にて通知のありました第13回厚生常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合もありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

市民生活部長	横 山 浩 丈
市民生活部くらし支援課長補佐	高 橋 美智子
市民生活部くらし支援課係長	黒 澤 陽 香
市民生活部くらし支援課主任主事	西 島 建 志
市民生活部保険医療課長	寺 嶋 悟
市民生活部保険医療課長補佐	大 橋 晃 久
市民生活部保険医療課係長	栗 木 康 隆
保健福祉部長	鎌 田 清 孝
保健福祉部次長	景 由 隆 寛
保健福祉部福祉課長	土 橋 祐 二
保健福祉部福祉課長補佐	林 裕 樹
保健福祉部福祉課係長	谷 内 謙 太
保健福祉部福祉課係長	半 澤 洋 志
保健福祉部福祉課係長	平 沼 由峰子
保健福祉部子育て応援課長補佐	井 谷 永里子
保健福祉部子育て応援課係長	伊 藤 崇
保健福祉部子育て応援課係長	川 端 麻 美
保健福祉部子育て応援課こども家庭相談室係長	菊 地 紗矢子
保健福祉部介護福祉課長	木 村 雅 人
保健福祉部介護福祉課長補佐	今 安紀子
保健福祉部介護福祉課係長	大 川 聖 和
保健福祉部健康づくり課長	運 上 明 子
保健福祉部健康づくり課長補佐	和 泉 譲
保健福祉部健康づくり課係長	松 本 未佳子
保健福祉部健康づくり課主査	倉 嶋 真 司

保健福祉部健康づくり課保健師
市立病院事務部長
市立病院事務部次長
市立病院事務部事務課長
市立病院事務部事務課長補佐
市立病院事務部事務課係長
市立病院事務部事務課係長
市立病院事務部事務課主査（専門員）
市立病院事務部事務課主任主事
市立病院事務部医事課長
市立病院事務部医事課長補佐
市立病院事務部医事課係長
市立病院事務部医事課主任主事

坂 本 昇 平
柳 圭 史
堀 勝 一
金 子 和 史
小 谷 友 宏
古 山 貴 昭
里 村 真 紀
畑 原 秀 樹
白 幡 拓 人
青 山 和 美
矢 野 健 介
藤 原 元 美
井 内 雄 大

（総務部総務課法制文書係）

第13回 厚生常任委員会

日 時 令和6年8月22日(木)
午前10時00分～
場 所 第二・第三委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

1 所管からの報告事項について（◎印は議案関連）

《市民生活部》

- （1） 公の施設の指定管理者の公募について （資料） 暮らし支援課
- ◎（2） 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について （資料） 保険医療課
- ◎（3） 令和6年度一般会計補正予算について（被保険者証廃止に伴う重度心身障害者医療費助成システム改修） （資料） 保険医療課
- ◎（4） 北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について （資料） 保険医療課

《保健福祉部》

- ◎（5） 令和6年度一般会計補正予算について（生活保護システム改修費及び過年度過誤納還付金） （資料） 福祉課
- ◎（6） 令和6年度一般会計補正予算について（保育所等の運営管理に要する経費、過年度過誤納還付金及び還付加算金） （資料） 子育て応援課
- ◎（7） 令和6年度介護保険特別会計補正予算（第1号）について （資料） 介護福祉課
- ◎（8） 令和6年度一般会計補正予算について（過年度過誤納還付金） （資料） 健康づくり課

《市立病院》

- （9） 経営状況について （資料） 市立病院

（終了後、所管及び報道各社の退室）

2 第3回定例会以降の調査事項について～別紙

3 その他について

4 次回委員会の日程について

○ 閉 会